

Press Release

ベーカーマッケンジー、三井住友海上火災保険による Hippo 社との戦略提携に法的アドバイスを提供

【東京発 2020 年 12 月 14 日】ベーカーマッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（所在地：東京都港区、代表パートナー：近藤浩）は、三井住友海上火災保険株式会社による米国インシュアテック企業、Hippo Enterprises Inc.（以下、「Hippo 社」）との戦略提携につき、法的アドバイスを提供しました。提携内容として、USD 350 million（約 366 億円）の転換社債購入による資本提携および今後 Hippo 社の扱う保険の再保険契約を含みます。

保険業界と最新のテクノロジーを組み合わせた新しい保険サービスであるインシュアテック。Hippo 社は米国において、リスク細分型の保険引受手法やスマートホーム機器、気象データ等を活用したリスク軽減・減災サービスなど、データとテクノロジーを活用したサービスを強みとしています。本提携により三井住友海上火災保険は、米国インシュアテック市場に関する知見やノウハウを生かし、損保事業の国内外への拡大を推し進めることとなります。

ベーカーマッケンジーは、デジタル・トランスフォーメーション（DX）関連のサービスに注力しており、医療・ライフサイエンス、自動車産業、不動産など幅広い産業分野において DX の推進を目指す企業に的確かつ産業を跨いだ横断的な法的アドバイスを提供しています。

ベーカーマッケンジーでは、東京事務所のコーポレート M&A グループの豊川次郎をリード・パートナーとし、同じく東京事務所の同グループシニア・アソシエイトの鈴木惇也が本件を担当しました。

本件について豊川弁護士は、「日本を代表する損保会社である三井住友海上火災保険と、米国インシュアテック大手 Hippo 社との本案件に関与させていただき大変光栄に思います。デジタル化は産業を問わず喫緊な課題の一つ。私たちベーカーマッケンジーは、世界中に張り巡らされたネットワークを駆使し、DX 分野に関するノウハウをグローバルレベルで提供するかたちで、本案件に寄与することができました。今後ともお客様に付加価値のある法的アドバイスをご提供できるよう、全力で取り組んで参ります」と述べています。

- 以上 -

本件における責任者



豊川 次郎

コーポレート／M&A グループ所属、東京、パートナー

03 6271 9457

jiro.toyokawa@bakermckenzie.com

東京事務所コーポレート／M&A グループに所属し、弁護士として20年に及ぶ実務経験を有する。“Chambers Asia” 2010年度版から2020年版において、コーポレート M&A 分野の「Leading Individuals」に選出される。弊事務所入所以前は、パートナーとしてリンクレーターズに勤務。

ベーカーマッケンジーについて

ベーカーマッケンジーは、世界を舞台とする厳しい競争に立ち向かうクライアント企業を支援します。私たちは、様々な国や幅広い業務分野に関わる複雑な法的課題に対処します。70年以上にわたり独自の文化を育んできた当事務所では、全世界合計で13,000人の所員が、世界各国の現地市場を深く理解しつつ、他国の事情にも精通することにより、複数の国や地域に跨る案件を的確に遂行することができます。信頼のおける同僚・友人のように、互いに協力して案件に臨むことで、クライアント企業と信頼を築きます。

www.bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカーマッケンジーの東京事務所として1972年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカーマッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

www.bakermckenzie.co.jp

